

マメザクラ、イソノキ、ケンポナシ、コウガイゼキソウ、ナツトウダイ、コシアブラ、ミズタバコ、ヌスビトハギ、シヨウジヨウバカマ、サジガンクビソウ、オニドコロ、ナガバモミジイチゴ、

吉谷部落で小休止を取り、不動さんの所に行く、ここでは、ツメレンゲ、イワデンダ、コオニユリ、ススキ、マルバマンネングサ、ミヤマウズラ、ヒメウツギ、パイカウツギ、カンアオイの類サイゴクベニシダ、ヤマイタチンダ、

部落から火燈山の途中までには

ヤマトアオダモ、ウラゲエンコウカエデ、ナツノハナワラビ、アイアスカイノデ、タカオイノデ、サカゲイノデ、クマワラビ、カラクサイヌワラビ、シユロソウ、エゴノキ、ウリハダカエデ、サワフタギ、サワフタギ、ウリカエデ、ヤマモミジ、コハウチワカエデ、ツクバネ、ザイフリボク、アオハダ、ミヤマガマズミ、コバノガマズミ、トグシバ、ヒメアオキ、チャボガヤ

本日の収穫は

- 1 *Polystichum pseudo-makinoides* TAGAWA サイゴクイノデ
現在のところ、このあたりが北限と見なされる。
- 2 *Dryopteris championi* C. CHR. サイゴクベニシダ
裏日本では越前以西であるから、北限と見なされる。
- 3 *Orostachys erubescens* OHWI ツメレンゲ
県下の産地火燈山、今立郡松岳
- 4 *Fraxinus longicuspis* SIEB. et ZUCC. ヤマトアオダモ、

渡辺定路 記

浄法寺採集記

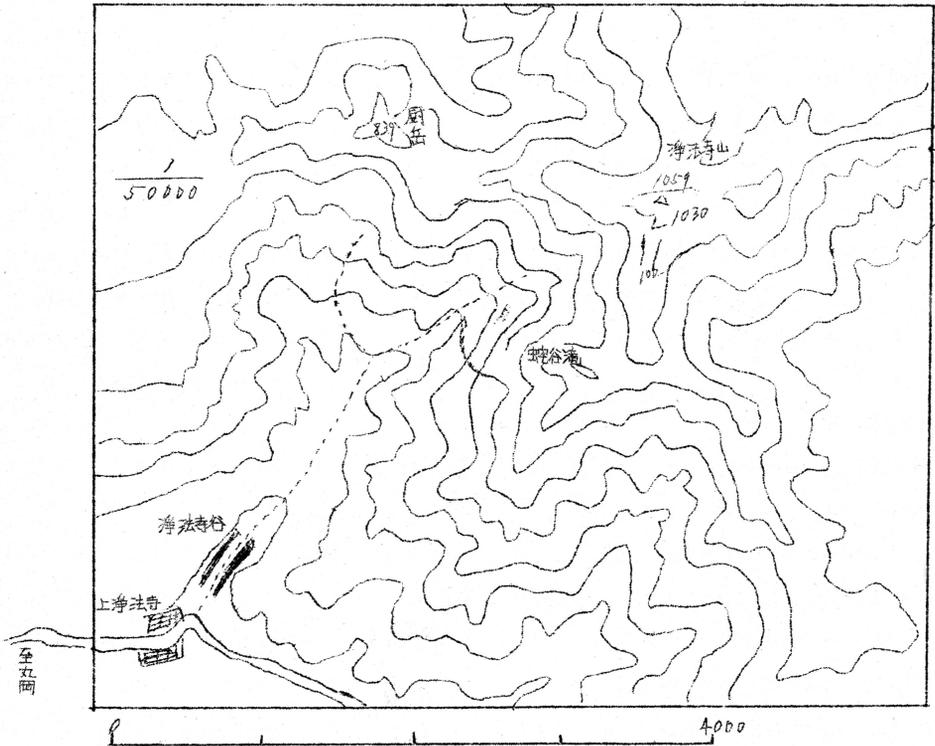
昭和36年8月10日 丸岡行のバスに堀館長以下小中高生を含めて約30名乗り、丸岡で丸岡高生物クラブ員も合流して、上浄法寺で下車し、ただちに採集にとりかかる。

ここでの主な採集品には次のようなものがある。

アオイスミレ、イヌタデ、イヌゴマ、エビヅル、ノブドウ、キクバエビヅル、ヒナガヤツリ、ヤブソテツ、カニクサ、ヤブソテツ、ヤマヤブソテツ、シケシダ、ヒメワラビ、カラムシ、ポタンヅル、オヒシバ、メヒシバ、ヌスビトハギ、ヒメミカンソウ、ミゾソバ、クルマバナ、カナムグラ、アキノウナギツカミ、ヤマイタチンダ、ヤワラシダ、ダイコンソウ、クズ、コナラ、ホドイモ、サワフタギ、フユヅタ、ナツヅタ、ヘクソカズラ、スイカズラ、ヒメシダ、イワヒメワラビ、ナワシロイチゴ、アキカラマツ、カキドオシ、ゲンノシヨウコ、ヌマトラノオ、オカトラノ

(採)

オ、ヤマアイ、ヒメシロネ、キツネガヤ、ミツバウツギ、エゴノキ、タンドボロギク、イノデ、



ウラボシノコギリシダ、ホタルブクロ、リュウノウギク、ミヤマガマズミ、イタビカズラ、イワデンド、ヒメムカシヨモギ、トラノオソダ、ハイヌガヤ、アケビ、ミツバアケビ、ナライシダ、イワヘゴ、マタタビ、カワミドリ、ヤマモミジ、ナンキンナナカマド、イヌシデ、アカシデ、ネジキ、サイゴクミツバツツギ、ササユリ、オオバクロモジ、ホツツジ、ノギリラン、コアジサイ、ヤマアジサイ、ノリウツジ、ヒヨドリバナ、クジヤクソダ、ヤマイヌワラビ、サトメソダ、イボタノキ、コマユミ、コバナガマズミ、クヌギ、ツタウルシ、イガホウズキ。

いよいよ急を上り坂になると、そこは木を伐採したあとで一面ススキ原になつており、全員真夏の日光を受け顔に汗して、あえぎながら登つて行つた。中腹ぐらいの所に大きな岩があり、岩上には、ヒメレンゲ、ゴトウズル、ヒモカズラ、トラノオソダがあり、更にススキをかきわけて進むと冠岳の下の谷川に出、正午になつたので昼食とし、希望者だけ上に登り、他はその付近で採集した。

ここの主な植物は、チドリノキ、イワガラミ、ヤマモミジ、ミヤマイボタ、エゾイボタ、パイカウツギ、クサギ、ダンコウバイ、マユミ、オウバギボウシ、ドクウツギ、イワウチワ、オオバヤシヤブツ、ヒロハハナヒリノキ、ナナカマド、ミズナラ、アブラチヤン、ミヤマニガイチゴ、アカミノイヌツゲ、オオツツラフジ、リョウブ、オオコメツツジ、ムシカリ、ヤマボウシ、ヤマト

ウバナ、ハウチワカエデ、イワウチワ、クルマバハグマ、ソヨゴ、ホツツジ、ミヤマアブラスキ、コゴメグサ等である。

注目すべき植物

1 *Selaginella shakotanensis* MIYABE et KUDO ヒモカズラ

本県での産地は、香葉山、小原峠、永平寺、今立郡権現山、

渡辺定路 記

笹川ダム採集記

昭和36年8月22日 創文堂の好意により、バス2台を確保してもらい、午前8時福井駅前を、堀館長以下、市内小中学生100名を乗せて出発した。途中真名峠で小休止を取つた。

そこでは、イワタバコ、ダイヤモンドソウ、イワデンダ、キハギ、ミヤマガズミ等を採集し、中島県営発電所へと進んだ。

発電所を見学して笹川ダムへと車を進め、10時半頃ダムに到着した。各学校ごとに集団を作つて、ダムを見学し採集を始めた。

主な採集品は次のようであつた。

クマイチゴ、モミジイチゴ、アキノキリンソウ、ツリバナ、ツクバネウツギ、ブナ、イヌブナ、シロモジ、タニソバ、ミズナラ、フングロセンノオ、クルマバナ、ミヤマトウバナ、ヤマモミジ、イロハモミジ、ミヤマハハソ、マユミ、コマユミ、アクシバ、タマアジサイ、ノガリヤス、ウスゲタマブキ、オオネバリタデ、ムラサキシキブ、サワオトギリ、オトギリソウ、オトコエシ、ソバナ、イワアカバナ、アカバナ、イワデンダ、ヤマハツカ、ヨモギ、ススキ、ヒヨドリバナ、ヒメムカシヨモギ、ミツバヒヨドリ、ミヤマカワラハンノキ、キワギ、チヨウジギク、ヤマヨモギ、ツリバナ、タケニグサ、タイミンガサ、シデシヤジソ、ミゾソバ、ヤマジノホトトギス、ヒメシラスゲ、バツコヤナギ、ヒカゲミツバ、ミツバフウロウ、イタヤカエデ、オニイタヤ、アキギリ、ノウルソ、ジヤコウソウ、オオヤマハコベ、オオヒメワラビ、ゼンマイ、ツルニンジン、クサソテツ、ハルトラノオ、キヨタキンダ、リヨウメンシダ、サカゲイノデ、ユクノキ、

注目すべき植物

1 *Fagus japonica* MAXIM. イヌブナ

日本海側の北限かも知れない。

2 *Phyteuma japonicum* Mig. シデシヤジソ

本県における二ヶ所目の産地である。

オニイタヤ、シロモジ、

渡辺定路 記